



一般社団法人

日本保育学会

第72回大会

第1号通信

2018年8月1日

日本保育学会第72回大会実行委員会

日本保育学会 第72回大会のご案内

「新しさ」とは何か

— 保育におけるブリコラージュの視点 —

日本保育学会第72回大会は、「『新しさ』とは何か—保育におけるブリコラージュの視点—」をテーマに、関東ブロックの主催で、大妻女子大学千代田キャンパスを会場にして2019年5月4日(土)・5日(日)の両日開催されます。

ところで、大妻女子大学での前回の開催は2005年(平成17年)。実に14年ぶりの開催となります。14年前のテーマは「こどもを原点に—保育実践研究の再構築」でした。大会実行委員長であった故大場幸夫氏は、このテーマを設定するにあたり次のように述べています。

こどもたちの生きている現代とはどのような時代なのかを考える機会にしたい…(そこで)グローバルリズムとローカルリズムという大きな思潮に着目して、思索する時空を設定するように努めます。そのために、人びとの生きる現実に身近に接しつつ、その現場に深くかかわる立ち位置からの問いかけに、耳を傾けることのできるように…

10年以上の歳月を経て、今、「新制度」「新要領」「新指針」、公定価格制度における「質改善加算」と結び付けられた「キャリアアップ研修」制度の創設、さらには「第三者評価加算」「関係者評価加算」等、幼児教育振興法を見据えての動きであろうとも捉えられる、独立行政法人国立教育政策研究所による「評価指標の開発」等々、「新しさ」を巡る諸言説、諸施策、諸制度等が大きな流れとなって動いています。

保育の質の向上、とりわけ保育の質の「担保」に対し、こうした動きは非常に重要な意味を持ちます。ただ一方で、質の向上を志向する個々の現場は、それぞれに多様な実態(地域[含. 基礎自治体等行政機関]、家庭・家族の状況、経験知も特性も異なる保育者、そして一人一人個性を有するこども)の中で営みを生起させています。畢竟、そのそれぞれが、そのそれぞれの多様性に基づいた必然性から質の「向上」を図っていかねればなりません。

「新しさ」を志向する営みが、エンジニアリング的でシステマティックな営みへと収斂された時、その先に

あるのは、「金太郎飴」のような営み、紋切り型で画一的な取り組みへと墮すことの危険性が、絶えず孕まれていることを忘れるわけにはいかないのではないのでしょうか。

例えば、業務の軽減、質の標準化を志向し沢山の財源が投下されているICTに関する施策。何を書くのかを具体的に明示する(チェックリスト等もここに入る)ことは、個々の保育者の力量に左右されることなく一定程度の質を担保し、またそれは書き易さにも繋がるでしょう。あるいは、そうした記載内容を、関連する(であろうと想定した)諸記録に自動的に連動させることは、業務軽減に繋がるものだと考えることも十分理解できることです。しかし一方で、連絡帳の記載一つとっても、それは保護者とのコミュニケーションツールとして機能するのみならず、その記載内容の工夫のさせ方によっては個別記録の基礎資料として日々の日誌に連動させることが可能です。さらには、その作成過程や諸記録間での連動のさせ方を試行錯誤すること自体の中に、人材育成のツールとしての機能を含ませることも実際に行われていることも目にします。ただし、いずれもこうした可能性への志向は、それぞれ個々の現実に即応して多様なリソースを試行的に使用し、組み合わせるといった挑戦的な営み、あるいは「遊び」にもなぞらえるような創造的な営みのもとで機能しており、まさにそうした多様な現実の中での取り組みこそが、質の向上のしくみや実際を生み出す内実となっているのではないのでしょうか。

今回の大会テーマの副題に「ブリコラージュ」を添えたのはこうした意味が込められています。見方を換えれば14年のときを経て、今、改めて、「こどもの・保育者の・保護者の・人びとの生きる現実」に目を向け、多様性の原則やその豊かさに目を向けた上で「新しさ」とは何か、質の向上とは何か、を思索する場として本大会を実施したいと思っております。

会員の皆様のご参加、ご発表を心よりお待ち申し上げます。

第72回大会実行委員長 大妻女子大学 岡 健

日本保育学会 第72回大会

大会テーマ **「新しさ」とは何か — 保育におけるブリコラージュの視点 —**

会期 2019年5月4日(土)・5日(日)

開催校 大妻女子大学(千代田キャンパス) 〒102-8357 東京都千代田区三番町12



○学会企画・実行委員会企画事業 (予定)

1. 大会記念 基調講演 **「私たちは 変わったのだろうか／でも その場はきっと今もよい」**
講師 立岩真也氏 (立命館大学大学院)
2. 社員総会・授与式
3. 学会企画
4. 国際シンポジウム 国際交流委員会 OMEP日本委員会 大会実行委員会共同企画
5. 大会実行委員会企画シンポジウム テーマ「保育の質を問う」・特別講演
6. 公開保育

大会日程（予定）

1日目 2019年5月4日(土)			2日目 2019年5月5日(日)		
9:30~12:30	13:00~15:00	15:20~17:20	9:30~11:30	12:30~14:30	14:50~16:50
受付・開会式 基調講演 社員総会 授与式	ポスター発表①	ポスター発表②	ポスター発表③	ポスター発表④	
	口頭発表①	口頭発表②	口頭発表③	口頭発表④	
	自主シンポジウム①	自主シンポジウム②	自主シンポジウム③	実行委員会企画	実行委員会企画
	国際シンポジウム		学会企画	学会企画	

重要 今大会の変更点

- ① 学会発表の要旨集のデジタル化により、より多くの情報が記録可能となりました。そのため、発表の際に登録いただく原稿を各発表**A4サイズ2枚**に拡大し、「発表要旨集」から「発表論文集」といたします。発表論文集原稿を登録の際には、お間違えのないようお願いいたします。
- ② 弁当及び宿泊手配の利用者が年々減少しているため、今大会では弁当の予約、宿泊手配を行わないことになりました。会場周辺にはコンビニエンスストアもあり、お弁当の販売もお願いする予定ではございますが各自でご用意をお願いします。
- ③ 大会関連の費用納入については、ゆうちょ銀行での取り扱いは致しません。

○大会参加のみの申し込み

①申し込み方法

- 大会参加のみの事前申し込みは、大会ホームページ(以下大会HP)から行ってください。
- 大会参加のみの事前申し込みは、2018年度迄の学会費を納入済みであることが条件となり、手続きには会員IDとパスワードが必要です。会員IDは第1号通信のあて名シールに記載されています。
- 大会参加のみの事前申し込みの締め切りは、**2019年1月20日(日)**です。2019年1月15日(火)迄に2018年度学会費の納入をお願いします。
- 大会当日に参加申し込みを受け付けますが参加費が異なります。(当日参加申し込み5,500円)

②大会参加費の納入

- 大会参加のみの方の納入締め切りは、**2019年1月21日(月)**です。
納入期日を過ぎた場合には、事前の参加申し込みはキャンセルとなりますので、お気をつけください。

○研究発表について

【研究発表資格】

★発表者(筆頭発表者及び連名発表者)は次の条件を満たしていることが必要です。

- ① 日本保育学会正会員であり、2018年度迄の学会費を2018年9月30日(日)迄に納入済みであること。
- ② 発表申し込みを2018年10月10日(水)迄に大会HPから行うこと。
- ③ 発表論文集原稿を2019年1月20日(日)迄に大会HPから登録すること。
- ④ 原則として連名発表者も大会に出席して発表ならびに質疑応答・討論に参加すること。

※会場の都合により複数の発表の連名発表者となっている方は、発表時間が重なることがあります。

※申し込み、発表論文集用の原稿登録が期日を過ぎた場合には受付はできませんのでご注意ください。

◆ 研究発表申し込みの際に必要な発表区分は以下の通りです。

01 保育思想・保育理論・保育史など	10 障害児保育・障害のある子どもを含む保育
02 保育制度・保育行財政など	11 児童文化・児童文化財など
03 発達論・心身の発達など	12 保育者の資質能力・保育者の専門性など
04 教育計画・保育計画・指導計画・評価など	13 保育専門職の養成など
05 保育内容Ⅰ(保育内容総論・遊び)など	14 家庭保育・家庭及び地域の連携・子育て支援など
06 保育内容Ⅱ(健康・人間関係・環境・言葉・表現)など	15 児童福祉・児童の人権など
07 保育方法(保育方法論・保育形態・幼児理解)など	16 幼保一体化・幼保小連携など
08 保育環境・保育教材	17 多文化教育・異文化理解・ジェンダーなど
09 乳児保育 1,2歳児保育 など	

【研究発表の形態と予定数】

ポスター発表:800件程度

口頭発表:200件程度 ※基本的にポスター発表とします。

研究発表の条件

- ① 研究発表は、未発表のものに限ります。
- ② 研究発表は、日本保育学会の倫理綱領を踏まえて、個人の責任において行ってください。
- ③ 研究発表は、「発表論文集への原稿掲載」「ポスター発表・口頭発表」「質疑応答・討論への参加」の3条件を満たすことで正式な発表として認められます。
- ④ 筆頭発表は、1人1回に限ります。連名発表者となる場合には筆頭発表も含めて3発表迄認められています。
- ⑤ 1つのテーマについて、一連の発表をする場合には、2発表迄とします。
- ⑥ ポスター発表・口頭発表が、日本保育学会研究奨励賞の対象になります。

研究発表要綱

■ポスター発表

- ・発表者は、概ね縦180cm×横90cmのスペースに、研究題目・発表者・所属を明記し、研究の要旨・図・表・写真からなるポスターを準備し、会場で質問に答えながら自由に討論を深めます。
- ・120分のセッション時間中は、ポスターを掲示してください。そのうち発表責任時間は、座長がそれぞれの発表について質疑を行いますので、必ず在席をしてください。不在の場合は、発表取り消しとなります。発表責任時間については、プログラムで詳細をお知らせいたします。英語による発表も可能です。

■口頭発表

- ・発表時間は、1発表につき12分です。質疑応答3分とします。
- ・全ての発表が終了後、座長の進行で討論を行います。
- ・発表の際に使用できる機器は、パソコン(Windows)とプロジェクターです。利用はあらかじめ申し出た方に限ります。使用するソフトの対応条件、機器については、第2号通信(2018年11月12日頃発行予定)でお知らせします。

発表条件は、日本保育学会「大会研究発表に関する規程」に従っています。

詳細は日本保育学会のHPをご覧ください。

http://jsrec.or.jp/?page_id=1972

○大会参加+研究発表申し込み

①申し込み方法

- 2018年度迄の学会費を2018年9月30日(日)迄に納入した方に申し込み資格があります。学会費と大会参加費をお間違えないようにお願いします。
- 大会参加と研究発表申し込みは、大会HPから行ってください。大会参加と研究発表申し込みは、会員IDとパスワードが必要です。会員IDは第1号通信のあて名シールに記載されています。
- 筆頭発表者は、研究発表申し込みの際に、連名発表者の情報(氏名・会員ID・所属)についての入力をお願いします。連名発表者は、期日迄に各自で大会参加の申し込みを行ってください。
- 申し込み数の超過の場合には抽選を行います。(申し込みの時に口頭発表からポスター発表への変更可否についてお尋ねします。)
- 申し込み締め切り後のタイトル変更及び発表者・連名発表者の変更はできません。
- 大会参加+研究発表申し込みの締め切りは、2018年10月10日(水)です。

②申し込み受理と結果発表

- 大会HPにて2018年11月3日(土)頃に掲載します。

③発表論文集原稿の登録

- 大会参加申し込み受理後、筆頭発表者は、大会HPから発表論文集に掲載する原稿を登録してください。
- 詳しい様式や登録方法は、大会HPに掲載する第2号通信(2018年11月12日頃発行予定)をご確認ください。
- 発表論文集原稿登録期間は、2018年12月20日(木)~2019年1月20日(日)です。

④大会参加費+発表登録費の納入

- 筆頭発表者及び連名発表者の納入締め切りは、2019年1月21日(月)です。
※納入がない場合には参加・発表はできませんのでご注意ください。

○自主シンポジウムについて

- 自主シンポジウムの開催予定数は50件です。申し込みが50件を超える場合には抽選を行います。なお、登録内容に不備がある場合には、開催できないことがあります。

【自主シンポジウムの開催資格】

自主シンポジウムの筆頭登壇者は、日本保育学会正会員であり、2018年度迄の学会費を2018年9月30日(日)迄に納入している方に限ります。連名登壇者には非会員でもなることができますが、大会参加費の納入を筆頭登壇者が行う必要があります。

○大会参加+自主シンポジウム申込みについて

①申し込み方法

- 筆頭登壇者は、日本保育学会正会員であることが条件です。
- 2018年度迄の学会費を2018年9月30日(日)迄に納入してください。大会参加費とお間違えのないようご注意ください。
- 大会参加と自主シンポジウムの申し込みは、大会HPから行ってください。自主シンポジウムの申し込みは、会員IDとパスワードが必要です。会員IDはあて名シールに記載されています。
- 筆頭登壇者は、連名登壇者の情報(氏名・会員ID・所属)について入力してください。非会員の場合には会員IDは必要ありません。
- 登壇は1人1件です(他の自主シンポジウムでの企画者・司会者・話題提供者・指定討論者になることはできませんのでご注意ください)。
- 自主シンポジウムの参加予定人数を入力してください。
- 締め切り後のタイトル変更、登壇者の変更はできません。
- 自主シンポジウムの申し込み締め切りは2018年8月31日(金)です。

②開催可否の結果発表

- 2018年9月7日(金)頃にE-mailにて筆頭登壇者に結果を送付、大会HPに掲載します。

③大会参加登録

- 開催を許可された筆頭登壇者ならびに正会員の連名登壇者は、大会参加登録を大会HPから行ってください。
- 大会参加登録の締め切りは、**2018年10月10日(水)**です。期日を過ぎた場合にはキャンセルになります。

④開催費の納入

- 開催を許可された筆頭登壇者は、自主シンポジウム開催費・大会参加費・非会員の登壇者の大会参加費を合わせて納入してください。
- 非会員の連名登壇者も、大会参加費(1人5,000円)が必要です。
- 正会員の連名登壇者は、各自で大会参加費を納入してください。
- 開催費と大会参加費の納入期限は、**2019年1月21日(月)**です。登壇者全員の大会参加費が期日迄に納入されていない場合、開催はできなくなりますのでご注意ください。

⑤発表論文集原稿の登録

- 開催費・大会参加費の納入後、筆頭登壇者は、大会HPよりシンポジウム概要の発表論文集原稿を登録してください。
- 詳しい様式や登録方法は、大会HPに掲載する第2号通信(2018年11月12日頃発行予定)を確認してください。
- 発表論文集原稿登録期間は**2018年12月20日(木)～2019年1月20日(日)**です。

○各申し込み手続き締め切り期限の確認

大会参加のみを希望		大会に参加し研究発表(①筆頭②連名)ポスター・口頭発表を希望		大会に参加して①筆頭登壇者②連名登壇者として自主シンポジウムを開催	
手続き	期日	手続き	期日	手続き	期日
2018年度迄の学会費の納入 →学会事務局	1月15日	2018年度迄の学会費の納入 →学会事務局①②	9月30日	自主シンポジウムの申し込み (大会HPから登録)①	8月31日
大会参加申し込み (大会HPから登録)	1月20日	大会参加申し込み (大会HPから登録)①②	10月10日	開催発表	9月7日頃
大会参加費の納入 →大会口座	1月21日	研究発表申し込み①	10月10日	2018年度迄の学会費の納入 →学会事務局①②	9月30日
		第2号通信発行 (メール配信)※①	11月12日頃	開催が決定した方	
		発表論文集原稿登録 (大会HPから登録)①	1月20日	開催登録 (大会HPから登録)①②	10月10日
		大会参加費+発表登録費 →大会口座①	1月21日	第2号通信発行 (メール配信)※①	11月12日頃
		大会参加費の納入 →大会口座②	1月21日	発表論文集原稿登録 (大会HPから登録)①	1月20日
				大会参加費+発表登録費 (連名非会員大会参加費を含む)・開催登録費 →大会口座①	1月21日
				大会参加費の納入 →大会口座②	1月21日

※第2号通信発行は、大会実行委員会が行います。

○諸費用について

予約(正会員)の方へ		
①大会参加費	発表なし、または連名発表者・連名登壇者(大会発表論文集はつきません)	¥5,000
②大会参加費+発表登録費	筆頭発表者・自主シンポジウム筆頭登壇者(大会発表論文集がつきます)	¥8,000
③自主シンポジウム開催登録費	筆頭登壇者は開催許可後、納入してください(大会発表論文集はつきません)	¥30,000
非会員登壇者の大会参加費	筆頭登壇者が開催許可後、納入してください(大会発表論文集はつきません)	¥5,000
④大会発表論文集(CD-ROM)		¥3,000
⑤大会発表論文集(CD-ROM)	機関購入	¥3,500

当日参加の方(正会員・非会員)		
正会員大会参加費	大会発表論文集はつきません	¥5,500
非会員大会参加費	大会発表論文集はつきません	¥5,500
非会員(学生)参加費	大会発表論文集はつきません。学生証を持参してください。	¥2,000
大会発表論文集(CD-ROM)		¥3,500

- 大会発表論文集は、CD-ROMのみです。(冊子の発行は実施しません)
- 大会参加費を2019年1月21日(月)迄に納入された方には「領収書」「参加証」「参加証ホルダー」を送付いたします。大会当日は、参加証を参加証ホルダーに入れて必ずご持参ください。
- 筆頭発表者・連名発表者とも必ず参加費を期日迄に納入してください。
- 自主シンポジウムの開催を許可された筆頭登壇者は、自主シンポジウム開催登録費と非会員連名登壇者の大会参加費を合わせて納入してください。自主シンポジウム開催登録費には、大会参加費+発表登録費は含まれていません。登壇者全員の大会参加費が2019年1月21日(月)迄に納入されない場合、自主シンポジウムが開催できなくなります。
- 『大会発表論文集(CD-ROM)』は、申し込み時に登録された住所に送付します。当日大会受付においても購入いただけます。
- 大会申し込みと支払いの手続きについては、今大会の業務を委託している京王観光(株)東京中央支店に直接ご連絡ください。

連絡先

京王観光株式会社 東京中央支店 日本保育学会第72回大会運営事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階

TEL:03-5312-6540 FAX:03-5379-0740 E-mail:hoiku72@keio-kanko.co.jp 担当:江口、国分、佐藤

- ◇大会関連費用の納入については、Web登録後、指定の銀行振り込み、クレジットカード支払い、コンビニ支払いよりお支払いください。手数料はご負担ください。

銀行振込先

振込口座 三菱UFJ銀行 振込第一支店

口座名 ケイオウカンコウ(カ) 当座 9530001

※各申し込み・支払いについては、その期日を厳守してください。

※一旦納入された諸費用はお返しできませんので、ご了承ください。

○公開保育についてのお知らせ

公開保育については、2018年11月頃に大会HPでお知らせいたします。

○大会中の一時保育について

- 大会中は、0歳児から小学校3年生迄の一時保育(有料)を実施する予定です。
 - 保育料・保育時間・対象年齢の詳細は、大会HPに掲載する2号通信(2018年11月12日頃発行予定)をご確認ください。
- ※利用に際してお尋ねする個人情報は、保育の目的以外で使用することはありません。

○今後の大会に関する通信予定

■第2号通信(2018年11月12日頃予定)

- 第2号通信は、大会HPからダウンロードしてください。
- 筆頭発表者・筆頭登壇者へは、E-mailでお送りします。

■大会プログラム(2019年4月頃)

- 正会員のすべての方に発送します。
- 大会発表論文集(CD-ROM)は、筆頭発表者・筆頭登壇者・予約購入者に発送します。

一般社団法人 日本保育学会事務局からのお知らせ

■2018年度学会費の納入

2018年度迄の学会費7,000円は、2018年9月30日(日)迄に納入してください。期日を過ぎた方は大会での発表ができませんのでご注意ください。なお、学会費と大会参加費をお間違えないようにご注意ください。

学会費納入先

口座記号番号：00190-8-67755

加入者名：日本保育学会

5月1日または9月1日発行の会報に同封された振込用紙、もしくは郵便局に備え付けの振込用紙にてお支払いください。

■入会手続き・住所変更について

入会手続き・住所変更は、日本保育学会事務局にご連絡願います。入会手続き完了迄に10日程度かかります。所属や住所(連絡先)を変更された方も必ずご連絡ください。

一般社団法人 日本保育学会 事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-2 B,R ロジエT-1

TEL 03-3234-1410 FAX 03-3234-1414

日本保育学会HP <http://jsrec.or.jp/> E-mail hoiku@main.so-net.jp

第72回大会実行委員会

委員長：大妻女子大学 岡 健

事務局長：大妻女子大学 田代和美 久富陽子

大会申し込み及び支払い手続きについての問い合わせは、今大会の業務を委託している京王観光(株)に直接ご連絡ください。

京王観光株式会社 東京中央支店 日本保育学会第72回大会運営事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階

TEL:03-5312-6540 FAX:03-5379-0740 E-mail:hoiku72@keio-kanko.co.jp 担当:江口、国分、佐藤